



学校だより 1月号

泉区緑園五丁目28番

TEL (811) 6710

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

「新しい時代、節目の年」

～変わりゆくもの、変わらないもの～

校長 副島 江理子

あけましておめでとうございます。平成最後の年明けです。

今年も本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますよう、心よりよろしくお願ひ申し上げます。

このお正月は、平成最後ということで、今までの30年をふり返り、これからの30年を予想するいろいろな話題が取り沙汰されました。

これからの30年間は、現在小学生の子どもたちが世の中の中心となって活躍する時代と重なります。「予測不可能な時代」と「予測」される中で、「人工知能」を代表とする最先端技術と人間がどのように付き合っていくかが一番の関心事として世の中を賑わしているように感じます。これからの30年間は「シンギュラリティ」（AIが人間の知性を超える）の到来等、人類の歴史を書き換える時代となり、人間のあり方や社会システムが根本的に見直され、ただの技術革新だけではない大きな価値の変換期が来るかもしれないと言われています。そのような中で元旦の新聞で得心した記事があったのでご紹介します。

「技術は世界を分断しないー自分の利益よりも他人の利益を優先する利他主義がこれからの国際社会で大切となるだろう。」（仏経済学者ジャックアタリ氏）「人は一人では生きられない。信頼や期待を受け、自分と他者が世界を共有して生きるのが人だ。人の定義はそこに行き着く。」「人間が体を持つ生物であることを忘れてはいけない。人は五感を使いわかれようとする。人間は感性をもっている。『なぜそうしたいか』という目的は感性に基づく感情や欲求から生じ、人間だから設定できる。感情や欲求を持ち続けられるかが人間と機械の分岐点である。」（京大総長 山極壽一氏）<日本経済新聞1月1日付より抜粋>

お二人の言葉から、人間のもつ普遍的な価値に改めて気づき、どのような世の中になっても、人は自分の意志をもち、人との関わりを大切にして生きていくものであることを強く感じました。そして、本校の「けが0プロジェクト」の理念である「自分の気持ちも人の気持ちも大切にしよう」にも通じていると思いました。

さて、お正月は例年、自宅近くのいくつかの小さな神社に初詣にまいります。私の住まいは緑園地区と同じで昔は山々だったところを切り開いた住宅地ですが、身近にたくさんのお社があることに驚かされます。今年は、「十二神社祭神宇気母智大神」（日本書紀に「保食神」と記され、人々に五穀と海山の幸をもたらした食物の神様）という、宝栄地震と富士山の大噴火で飢饉に見舞われた300年前に祀られた小さな神社に行き、緑園東小の子どもたちの健やかな成長をお祈りしてまいりました。小さい子からお年寄りまで、いろいろな世代が来ており、これから先、どのように技術革新が進んでも、人々は初詣に行つて新年の平穩を願ひ、抱負を抱き続けるのではないかと思います。

今年は緑園東小も30周年という大きな節目の年を迎えます。平成2年度の4月1日に開校し、まさに平成と共に歩んできた本校が、緑園東小学校としては最後となる周年を迎えます。3年後の「緑園義務教育学校」設立に向けて、年明けから工事車両通用口の工事が始まり、いよいよ新しい時代に向けての新しい緑園の学校づくりが始まります。この節目の年に向けて、「チーム緑園東」として、今まで以上に、教職員一同、誠心誠意努めてまいります。保護者、地域の皆様方には、工事等でご迷惑をかけることも多くなるとは思いますが、何卒、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。